

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災啓発推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内2840)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,085 千円 (前年度予算額： 13,888 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,888	0	0	0	0	0	0	0	13,888
要求額	14,085	0	0	0	0	0	0	0	14,085
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和2年度から5年間で計画期間とする第2期県強靱化計画では、昨今の災害の頻発化、激甚化を踏まえ、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図ることとしている。

被災経験のない県民にとって、災害リスクを我が事として認識することは難しく、特に県内では震度5以上の地震が50年以上発生していないため、各種媒体を活用し、県民の防災意識の向上を図る必要がある。

(2) 事業内容

防災啓発イベント「ぼうさいキャラバン」を実施し、地震体験車の体験等を通じて県民に災害への備えを直接働きかける。

また、世代によって情報取得媒体が異なる傾向があることから、新聞、雑誌やテレビ番組といった様々な媒体を活用して防災意識の向上を図る。

○ぼうさいキャラバン

デジタル環境のない県民や無関心層に、防災意識を持っていただく機会として、大型商業施設等において防災啓発イベントを開催するほか、防災訓練や防災イベント等への参加を促進する。

○防災啓発テレビ番組の制作

小学生等の若年層でも理解でき、家庭で取り組んでみようと思わせるテーマで、防災啓発テレビ番組を制作する。制作した番組は、各種防災講座や防災イベントでの上映、動画投稿サイトでの配信など、二次利用を含め効果的に活用する。

- 新聞・広報等による広報
デジタル環境のない県民や無関心層に防災意識を持っていただくため、新聞や雑誌、バス車体広告等を活用し、防災啓発を実施。
- 地震防災啓発活動
地震体験車を県内各地のイベントに出展するとともに、県民一斉防災訓練「ぎふシェイクアウト」を実施し、巨大地震への備えの重要性を啓発。
- FMぎふ広告掲載
FMぎふが作成する「ぎふ防災ハンドブック」に防災啓発の広告を掲載。

(3) 県負担・補助率の考え方
県民の防災意識向上のため県で負担する。

(4) 類似事業の有無
以下事業と連携し、効果的・効率的な事業実施を図る。
・防災教育推進費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	263	県民会議等
旅費	196	業務旅費等
需用費	900	会議費、消耗品、印刷製本費、燃料費等
役務費	199	通信運搬費、賠償保険
使用料及び賃借料	54	有料道路使用料
委託料	12,473	業務委託料
合計	14,085	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期県強靱化計画

第5章 強靱化の推進方針の3(10)「リスクコミュニケーション／防災教育・人材育成～自助・共助の底上げ～」において、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図るため、子どもから高齢者まで全ての世代を対象に「災害から命を守る岐阜県民運動」を展開する旨を規定。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民の「自らの命は自らが守る」意識を高め、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
災害や緊急時の備えが出来ている人の割合	91.5%	92.0%	93.0%	94.0%	94%	98%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	県内各地で防災啓発イベントを複数回実施し、地震体験車の運行やチラシ配布、防災啓発動画の再生などを行うことで、多くの県民へ防災啓発を行った。また、新聞や雑誌・テレビ番組等の媒体を活用し幅広い世代への防災啓発活動を行った。
令和6年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和7年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	風水害の頻発化や激甚化、近い将来に大規模地震の発生が危惧されていることを踏まえ、喫緊の必要がある。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	災害に備える県民の割合が年々増加していることから、防災啓発イベント実施や各種情報媒体での防災啓発活動は効果があると言える。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	防災啓発イベントで地震体験車を運行したり、各種広報物配布やテレビ番組映像を再生するなど、相乗的に活用することで効率化を図っている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 いかに多くの県民に啓発できるかが課題であり、様々な世代に対して有効な媒体の活用と積極的なアプローチが必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民の生命を守るための防災啓発に係る事業であることから、継続して実施する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>災害・避難カード (防災教育推進事業費) 【防災課】</p>
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	<p>制作したテレビ番組を災害・避難カード出前講座等で上映することで、効果的な活用が図られる。</p>